

1 提案者 氏名 服田 侑里奈 （飯山市立泉台小学校）

2 提案内容

（1） 主題名 「友だちと仲良くし、助け合う」（1 学年）

（2） 利用した番組名 「ざわざわ森のがんこちゃん—ずるい？ずるくない？—」

内容項目：B（9）友情、信頼

（3） 授業のねらい

みんな同じ数にした方がずるくないと考えていたがんこちゃんが、ピロくんから実を分けてもらったときの気持ちを考えることを通して、人それぞれ必要なものが違うことに気づき、その特徴に合わせて接しようという思いをもつことができる。

（4） 授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入	1 自分がずるいと思った経験を想起する。	・お菓子が一人だけ多い。 ・先生が車で学校に来る。 ・お姉ちゃんのほうがおやつが多い。	例を挙げる。	
展開	2 動画を途中（バンバンが勝負しようと言っているところ）まで視聴し、がんこちゃんの気持ちを考える。	・がんばるぞ！ ・勝つぞ！ ・1 位になれるかな。（わくわく）	がんこちゃんになりきって考えるよう促す。	
	3 動画を途中（がんこちゃんが台を同じ数にするか違う数にするか考えこむところ）まで視聴し、自分だったらどっちがずるくないと思うか考える。	○同じ数がずるくない ・台 2 こでピロくんが勝ったから、ずるい。 ○違う数がずるくない ・ピロくんは台 1 こだと届かないけど、がんこちゃんは台 0 こでも届くから。 ・背の大きさがちがうから。 ○迷う ・ピロくんは台が 1 つだと採れないし、2 つだと多く採れちゃうから	考えを視覚化するために名前マグネットを黒板に貼る。	

	4 動画を最後まで視聴し、ピロくんから実をもらったがんこちゃんの気持ちを考える。		
	中心発問：ピロくんから実をもらったがんこちゃんは、どんなきもちだろう。		
終末		・うれしい。 ・ありがとう。 ・(ピロくんが) 本当は食べたいのに我慢しているかも。 ・みんな食べる量がちがうんだな。 ・背がちがうから実も台も数がちがくていいかな。	ワークシートに自分の考えを記入する。 がんこちゃんが、どんなことを考えたかも問う。
	5 今日の学習を振り返り、思ったことや考えが変わったことを発表する。	・最初はみんな一緒にいいと思ってたけど、みんな違っていると思った。 ・台も実もどうやって分けたらいいかわからなかったけど、体の大きさを考えたらわかった。 ・給食も同じ量じゃなくていい。	ワークシートに記入する。

(5) 考察

- ・動画を見ることで、登場人物に自分の思いを重ねて具体的に考える姿が見られた。
- ・学習活動3では、がんこちゃんが悩んでいる場面を視聴したことで、子どもたちもどちらかの意見に引っ張られることなく、真剣に悩んで自分の考えをもつことができていた。
- ・学習活動4では、動画を最後まで視聴してしまったため、ピロくんがなんと言っていてがんこちゃんに実を渡しているか子どもたちが忘れてしまった。渡したところで動画を停止し、子どもたちにごんこちゃんの気持ちを考えさせた方が良かった。また、「ピロくんが我慢している」という意見が出たところで、ピロくんの気持ちも考えていたらもう少し『ひとそれぞれ必要なものがちがう』ということを考えられたと思う。

(6) 番組への要望

- ・場面絵がたくさんあったので、どれをどの学習活動で使うかを考えることができる。
- ・指導案があったので、ねらいや発問が考えやすく、ありがたい。

